

船舶事故等調査報告書

平成23年2月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010神136号	
事故等種類	運航不能（舵故障）	
発生日時	平成22年7月4日（日） 15時40分ごろ	
発生場所	福井県おおい町沖 鋸崎灯台から真方位315° 3.6海里付近 （概位 北緯35° 35.4′ 東経135° 36.6′）	
事故等調査の経過	平成22年7月5日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 遊漁船 ^{てんしやう} 天翔丸、9.90トン 船舶番号、船舶所有者等 不明、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	舵軸フランジ継手のボルト及びナット4本のうち3本が脱落・消失	
事故等の経過	<p>本船は、船長1人が乗り組み、釣り客4人を乗せ、釣りを終えて帰航中、平成22年7月4日15時40分ごろ、おおい町沖において、舵の操縦ができなくなった。</p> <p>船長は、船内各部を点検したものの原因が特定できず、運航を中止し、16時45分ごろ、携帯電話で海上保安署に救助を依頼した。</p> <p>本船は、来援した巡視艇にえい航され、18時50分ごろ、小浜漁港に帰港した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 雨、風向 北、風力 3</p> <p>海象：波高 約0.7m</p>	
その他の事項	<p>舵軸フランジ継手は、ボルト及びナット4本で取り付けられていたが、このうち3本が緩み、ボルトが脱落していた。</p> <p>ボルトは、大きさがM16で、ナットは、ダブルナットで材質がステンレスであった。</p> <p>舵軸は、平成21年10月に新替されていたが、このとき、フランジ継手のボルト及びナットも併せて新替されたかどうかは不明であった。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>なし</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、おおい町沖を釣り場から帰航中、舵軸フランジ継手のボルト及びナット4本のうち3本が脱落して消失し、フランジが分離したことから、舵の操縦ができなくなったものと考えられるが、船長から十分な情報を得ることができなかったため、その状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	本インシデントは、本船が、おおい町沖を釣り場から帰航中、舵軸フランジ継手のボルト及びナット4本のうち3本が脱落して消失したため、舵の操縦ができなくなったことにより発生したものと考えられる。	

